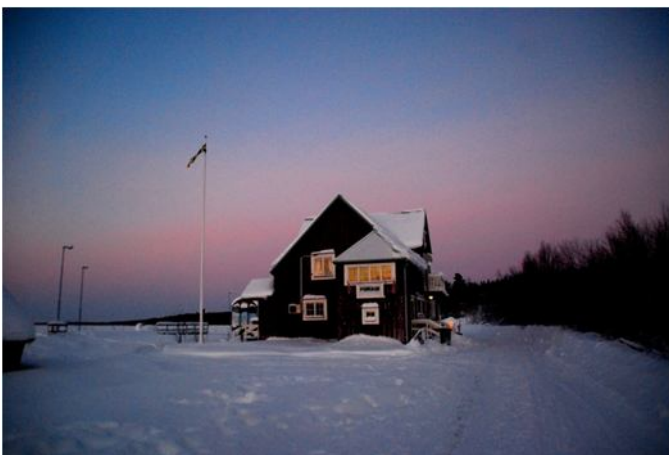


「オーロラを待つ (1)」

滞在初日から、北極圏にしてはずっと高い気温が続
き、天気もぐずついでいました。夜が長い時期とはい
え、完全に晴れた夜はなく、このままではオーロラを
見ずに帰ることになるかな・・・?と少し焦り始めて
いました。しかし、1月4日は朝から快晴。気温も、
-20°以下になり、いよいよオーロラが期待できる
日になりました。



今の時期、北極圏では 24 時間、全く太陽が昇らな
い「極夜」が続きます。それでも一日中真っ暗なわけ
ではなく、午前8時頃には空が薄明るくなってきます。
この薄紫色の空の帯は「ビーナス・バンド」と呼ばれ
ます。



ビーナス・バンドは、地平線下の太陽光が、反対側
の地平線上の大気に反映する現象です。日本でも見ら
れますが、日の出直前と、日没直後のわずかなじかん
ただけです。しかし北極圏では、太陽が地平線下ぎ
りぎりを移動するので、長時間この現象が見られるの
です。冬の北極圏の風景の特徴と言えます。



そのビーナス・バンドも、午後2時ごろには見えな
くなり、午後4時には外は真っ暗になります。この時
間帯は、日本では深夜にあたるので、眠くなってきま
す。オーロラ観望に備え、しばらく「昼寝」をするの
が日課でした。



午後8時、北の空にオーロラが見え始めました。し
かし、まだようやく肉眼で見えるレベルです。このあ
と、カーテン状の美しいオーロラが期待できます。